

## 平成29年度第1回魚沼市男女共同参画推進委員会 会議録

日 時	平成29年7月12日(水) 13時25分～15時00分
場 所	小出庁舎3階 301会議室
出席者	【委員】山本英二会長、石川伊織委員、金子富美子委員、 小西歌子委員、富永洋介委員、齋木富美子委員 (欠席：貝瀬直子副会長) 【事務局】企画政策課企画政策室 富永課長、桑原室長、小島係長、五十嵐係長

### (会議の要旨)

#### 1 開 会 (13:25)

#### 2 課長あいさつ

市では第3次魚沼市男女共同参画推進計画を策定し、今年度が2年目である。家庭・地域・職場あらゆる場所において、男女平等意識を持ち、責任を分かち合う社会の実現を目指し、いろいろな施策を推進しているところである。市長の交代により、若者の定住促進や子育て環境の充実を重点的に進めている。急激な少子高齢化は死活問題である。地域の実情を踏まえた多様な取組が必要となり、男女共同参画の視点からご指導いただきたい。

市のPTA連絡協議会から小西委員を迎えて、会議を開くこととなった。家庭教育分野でのご意見を頂戴できるものと期待している。

#### 3 委員及び事務局紹介

#### 4 議事

##### (1) 平成28年度事業実施報告書(案)について

(事務局) (資料説明)

(会 長) 事前配布した個別の事業実施結果とは別に全体的に概括したものを事務局から提示いただいた。

(委 員) 議案では事業実施報告書(案)は資料事前配布となっているが、これを今日初めて見た。数値としての成果が書かれていないので意味がない。

また、事業実施結果は事前に送られてきて事前質問として依頼が来たが、あまりにもたくさんあるので出さなかった。

P6～7の指標に「実態把握」とあるが、実態把握した結果がここに出て

こなくてはならないはず。

(事務局) 資料3の実施計画(案)では実態把握した後の指標と目標値が出ているので、それを事業実施結果に反映させればよかったということか。

(委員) では、資料3で実態把握したはずの28年度に目標値15という数字が出てきている。決めた覚えがない数字が出るのがおかしい。それに平成29年度で出せるなら、なぜ最初から15校と出さなかったのか。

(室長) 計画を立てる段階で、市内部で機能していなかったところがあった。そういった状況もあって、実態把握とした経過がある。

(委員) 平成28年度に実数が入るのがおかしい。実態把握したことをここに書かなければならない。

(室長) 平成28年度で実態把握した部分の表記は訂正させていただく。指標そのものがいいかどうかという議論もある。

(委員) 整合性がとれるようにしていただきたいし、把握した実態を明記していただきたい。また、報告書(案)の中に書かれている事業はどこを見ればいいのかページ数などで示さなくてはならない。

(事務局) (各事業のページ数を説明)

(委員) 目標値の分母が増えているのはなぜか。

(室長) 累計で行っている指標では、より高い目標設定として年々増えている。また、定数値で変わらない目標もある。

(委員) 目標値が100%で、実績値も100%というものがあるが、これはどうなのか。P27~29

(事務局) 希望した方すべてに事業が実施された場合、100%としているもの。

(委員) 目標値が何人で、実績値が何人というようにしなくてはならないのではないのか。

(事務局) 毎年数値が変わるものなので、数値ではなく、割合とした。

(委員) それでも実数は出るはずなので、100%という結論であっても実績値/目標値というのは変わらないはず。

(事務局) 数値の表記に関しては、庁内推進委員と協議・検討する。

(委員) 事業実施報告書(案)は報告書とあるが、言葉が報告書ではないように感じる。

(委員) 事業実施結果にしっかり説明が記載されていれば、この事業実施報告書(案)は要らない。

(会長) 事業実施報告書(案)を添付した経緯を説明いただきたい。

(事務局) 事業実施結果を市民に提示しても量が多いので、魚沼市の取組の現状がわかる総論的なものとして用意した。

(委員) これでは数値がないのでわかりやすいと言えない。

(委員) ホームページを見る市民からは、初めて見るものと思われるので、「魚沼

市はこういった形で今年度取り組みました。ついては大きな目標を3つ作ってやっています」などの説明の方がわかりやすいのではないか。たまたまホームページで初めて見た人が、魚沼市はこんなことをやっていたんだと思ったときに、さらに読み進めてもらえるようなものがあると思う。

(課長) 男女共同参画に詳しくない人でもわかるような資料を作るので、事務局にあずけさせていただきたい。

(室長) 事業実施報告書(案)が必要かどうかも含めて持ち帰らせていただきたい。

(委員) 事業実施結果の項目の頭くらいに「この課題に関してはこういう問題が実施結果の数値から見えます」という方がわかりやすいと思う。

(委員) 市民全体としては、男女共同参画の意識が少ないと思うが、その中でホームページを見ていただく方がどれほどいると考えているか。

(室長) 今年度、スケジュールの中で市民向け講演会を企画している。まずはそういったところから始めていく必要があると考えている。

(委員) せっかく取り組んでいるので、例えば市報に載せるとか、市民が少しずつ男女共同参画の取組をわかってもらえるような方法を考えていただきたい。

(会長) 目標としては「男女共同参画社会」という言葉を内容まで知っている人の割合を平成32年度で30%まで引き上げる計画である。いろいろな機会でも周知をしていく必要である。

では、今いただいた意見をもとに事務局が修正を行うということで次の議題へ移る。

(2) 平成29年度実施計画(案)について

(委員) 平成28年度時点で目標を達成している指標について、目標値を改める考えはないか。

(事務局) 現状値よりは高い目標であるべきと思うので、担当課と協議する。

(委員) P2のブックスタートでは、現状値が翌年度の目的値を上回っているが、10ヶ月児の人数もあるので、一般の講演会などとは習性が違う。

(委員) 数値の積算の根拠があるとよい。どんな数字も根拠があるはずなので、それをどこかに書き入れておいてもらえれば、見る側は納得して数字を見ることができると思う。

(事務局) 数字の根拠が入られるか、改めて検討する。

(委員) 社会福祉協議会では、事業周知にFMうおぬまを活用している。男女共同参画についても広報できれば、いいPRになるのではないか。

(会長) 魚沼市はFMうおぬまでPRできる制度はあるのか。

(事務局) 平日の朝と夕方に市の放送枠があるので、その時間を使って男女共同参画のことをPRしていきたい。

(委員) 私もFMうおぬまは毎日聞いているので、市報を読む時間がない人でも情

報を取得することができ、FMを使うのはいいアイデアだと思う。

(委員) 農業者年金事業のところで、数字がなかなか伸びない現状のなかで、少しでも下がらないように皆さんでいろいろと考えていただけたらありがたいと思う。

(室長) 今年度の目標値を平成28年度実績値が上回っているので、数字の根拠など精査していきたい。

(会長) それでは、計画全体の目標値を修正するということでよろしいか。

(室長) 平成28年度事業実施結果と平成29年度実施計画(案)で、ご指摘箇所の修正をした後に、委員の皆様方にお送りさせていただく。個別にこれでもいいかどうかについて持ち回りで聞きとらせていただいた上でご承認いただけるかどうか、あるいは会議を持った方がよいかどうかについてお諮りしたい。

(3) 今年度のスケジュール(案)について

(事務局) (資料説明)

(委員) 次回の委員会では平成29年度途中の事業進捗がわかるような資料を用意してもらい、平成30年度計画を審議する参考にしたい。簡単なものでよい。

(事務局) 庁内委員から現状を聞き出して、ご審議いただけるように準備したい。

(委員) 市民向け講演会については大枠が決まっているか。早めに周知をしないといろいろな事業が重なる時期なので注意してほしい。

(事務局) 主催の三者で詳細を詰めているところ。ご指摘どおり周知を早めに行うよう注意する。

5 その他

(室長) 関係する各課の職員を同席させればよかったが、日程調整がつかずにこのようになってしまった。次回の会議の際には関係課の担当者を同席させるよう努めたい。

(事務局) 事務諸連絡

6 閉会 (15:00)